

トルコ国の開発ニーズ

- 1999年のイズミット地震で大規模な被害を受けて以降、トルコ政府として地震対策が喫緊の課題となっている。
- 特に、学校、庁舎や病院などの公共施設に対して迅速な耐震対策実施が求められている。

普及促進事業の内容

- トルコ政府およびイスタンブール工科大学 (ITU) 等と共に、トルコへの新技術の導入に向けて、MF構法の技術検証を行う (タスクフォース活動)。
- 政府要人を本邦へ招聘し、実際の構造物視察、施工デモ、設計ワークショップを実施。
- 各実施機関等へMF構法を紹介し、トルコ国内での普及のためのパイロットプロジェクトを選定と設計を実施する。

前田建設の技術・製品



MaSTER-FRAME構法 (MF構法)

高性能の専用あと施工アンカー (ディスクアンカー) を使用することで、「居ながら工事」ができる耐震補強構法

事業のポイント

- ・MF構法は、建物を使用しながら耐震補強工事を行うことができる新技術
- ・トルコ政府およびITU等と共に、新技術導入に向けたタスクフォースを立ち上げ、設計指針作成、パイロットプロジェクト選定とその設計を実施する。

トルコ国側に期待される成果

- 事業の休業や仮建物手配などが理由で耐震補強が進まない建物へのソリューション
- 総合的なコスト削減による耐震補強の推進

日本企業側に期待される成果

現状

- 現状、本技術も含めて、地震国であるトルコにおいて日本の耐震技術の認知度は低い。

今後

- 本技術の「居ながら工事」の有用性が認識され、耐力の高いディスクアンカーの製造販売によるビジネス展開が可能となる。
- 耐震診断の結果を受け、公共施設 (学校約20,000校) 等に対し、使用しながら、適切な耐震補強工事が実施される。